

第4 震災対応業務〔各課〕

1 被災者に対する健康支援活動

(1) 心のケア対策事業

地域の精神保健活動拠点として、平成24年4月に設置された「ふくしま心のケアセンター」と連携し、被災者のPTSD（心的外傷ストレス障害）や、うつ病、アルコール問題等の心の問題に対応するため、仮設住宅等の巡回訪問等を行った。

仮設住宅等の巡回支援者数 延べ962人

(2) 被災者健康サポート事業

仮設住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持していけるよう、市町村と連携しながら健康支援活動の実施体制整備を図るとともに、被災者に対する健康支援活動を実施した。

ア 仮設住宅・借り上げ住宅等の家庭訪問

家庭訪問により健康状態や口腔衛生状態の把握を行い、健康相談・歯科保健相談栄養相談等を実施し、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた支援を行った。

◆家庭訪問状況

(平成24年度)

区分 市町村	健康相談（延人数） （健康調査・要支援者等）		口腔ケア（延人数）	
	仮設住宅	借り上げ住宅	仮設住宅	借り上げ住宅
相馬市	0	30	277	0
南相馬市	82	121	71	0
広野町	0	6	0	0
富岡町	2	166	0	0
双葉町	4	38	0	0
浪江町	1	229	92	17
新地町	0	0	153	0
飯舘村	2	105	195	0
合計	91	695	788	17

イ 仮設住宅集会所等における健康教育・健康相談

被災者の健康状態の悪化予防や健康不安の解消を図るため、仮設住宅等において生活している被災者を対象に栄養相談や口腔ケア相談等の実施と、住民同士の交流を支援した。

(ア) 栄養支援状況

(平成 24 年度)

区分 市町村	個別栄養相談		料理教室				栄養サロン			
	仮設住宅	借り上げ住宅等	仮設住宅	借り上げ住宅	仮設住宅	借り上げ住宅等	回数	延人数	回数	延人数
	延人数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
相馬市	3	2	0	0	0	0	0	0	3	30
南相馬市	7	0	24	336	2	29	64	729	2	15
広野町	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
浪江町	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0
新地町	8	0	10	123	1	9	4	38	0	0
飯舘村	19	30	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	38	79	34	459	3	38	68	767	5	45

(イ) 口腔ケア支援状況

(平成 24 年度)

区分 市町村	口腔サロン				障害者福祉施設等 (個別支援)	
	仮設住宅		借り上げ住宅等		回数	延人数
	回数	延人数	回数	延人数		
相馬市	0	0	4	40	0	0
南相馬市	32	383	0	0	33	601
広野町	0	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0	0
浪江町	5	43	0	0	0	0
新地町	25	206	0	0	0	0
飯舘村	0	0	0	0	0	0
合計	62	632	4	40	33	601

(ウ) 被災者健康支援に係る会議開催

被災者の健康支援活動を行う市町村、保健医療福祉関係団体と被災者の健康支援に関する課題などについて情報交換と課題等への対応策の検討を行った。

- 管内の被災者健康支援活動連絡会 開催回数：2回
- 市町村毎の被災者健康支援活動連絡会 開催回数：10回
- 所内の被災者健康支援活動連絡会 開催回数：5回

2 地域住民の不安解消、安全・安心の確保に係る取組み

(1) 緊急被ばくスクリーニング（再掲）

「福島県緊急被ばく医療活動マニュアル」に基づき、被災住民避難等に係るスクリーニングを下記のとおり実施した。

なお、スクリーニングについては、電気事業連合会の協力を得て24年度も引き続き実施している。

平成23年3月12日から平成25年3月31日までの実施件数	81,507名
(内訳) 100,000cpm以上	3名
13,000cpm～100,000cpm未満	58名
13,000cpm未満	81,446名

(2) 健康相談

震災直後より一般住民から、スクリーニングの方法、放射線の身体への影響に関する不安の訴え等、様々な相談に対応した。

平成23年3月～平成25年3月 来所 79件 電話 637件

(3) 放射能汚染にかかる水、食品等の安全性に関する相談

飲料水に関する一般住民等からの問い合わせ等が370件、食品に関する問い合わせ等が19件あり、助言、指導を行った。

(4) 放置犬等の保護、相談、苦情対応等

捜査依頼等のペットに関する相談が123件あり、警戒区域におけるペット動物の救護を、犬24頭（返還9頭）、猫137匹（返還18匹）について実施した。

3 その他、震災により業務量が増加した事務

(1) 生活保護関係事務

収入資産調査の一環として、昨年度に引き続き県内外に避難した被保護世帯に対して、義援金、東電補償金等の生活保護の取扱いを丁寧に説明するとともに、収入申告の励行に努めた。

東電補償金等の収入資産調査件数は72件（うち県外避難者に係る調査が20件）であった。

(2) 医療提供施設等の確認、施設整備に関する相談及び指導

震災による医療施設の被災状況を確認した。（広野町、南相馬市、相馬市、新地町）

また、警戒区域内の医療機関の状況把握及び休止の手続き等について指導するとともに、被災地区の病院診療所等の業務再開にあたり、その手続き等を指導した。

さらに、一般住民からの医療相談等に対応した。

(3) 感染症診査協議会に関する事務（委員及び会場の変更）

東日本大震災の影響で、相双管内で委員の確保が出来なくなり、県北地区感染症診査協議会委員が相双地区感染症診査協議会委員を兼務することになった。県北保健所を会場とし開催しているために、職員の移動や事務処理が増加した。

感染症診査協議会開催回数 17回（定例12回、臨時5回）

(4) 環境衛生営業許可施設等の確認、営業に関する相談及び指導

- 管内営業許可施設等の被害状況の確認を行った。(517件)
- 復興工事等に係る宿泊施設等の衛生確保を図るため、立入指導を実施した。(宿泊施設123件、公衆浴場17件)
- 営業許可施設等からの相談に対して助言、指導を行った。(52件)

(5) 食品営業許可施設等の確認、営業に関する相談及び指導

- 震災による営業施設の被災状況を確認した。(広野町、南相馬市、相馬市、新地町)
- 被災地区事業者の営業再開にあたり、衛生指導及び申請手数料の減免手続き等を指導した。(105件)
- 避難所における食事提供等にあたり、衛生指導を実施した。(9件)
- 加工食品の放射性物質検査(モニタリング)を実施した。(22件)
- 一般住民からの食品の放射性物質に係る相談等に対応した。

(6) 死亡獣畜の処理に関する指導及び許可事務

- 平成24年度死亡獣畜取扱場外処理許可申請数
牛 15件(埋却頭数896頭)
豚 1件(埋却頭数3頭)

4 いわき地域へ避難した管内住民への対応

(1) いわき地域における相双地域からの避難者等の状況

市町村名	人口(H25.4.1現在 単位:人)			役場機能所在地等		
	いわき居住者	仮設入居	借上入居	本部機能	いわき市内	
南相馬市	64,356	790	5	785	南相馬市	—
広野町	5,208	3,563	1,616	1,947	広野町	H24.7月廃止
檜葉町	7,670	6,820	3,049	3,771	いわき市	本部
富岡町	14,489	5,325	772	4,553	郡山市	出張所
川内村	2,811	386	110	276	川内村	—
大熊町	10,948	3,750	1,409	2,341	会津若松市	連絡事務所
双葉町	6,919	1,333	417	916	埼玉県・郡山市	—
浪江町	19,680	2,245	0	2,245	二本松市	出張所
葛尾村	1,505	30	0	30	三春町	—
相双合計	133,586	24,242	7,378	16,864		
参考: いわき市	327,890	320,163	473	7,394	※いわき市人口 H25.4.1 現在 ※市外避難者数 7,727 人 H25.3.25 現在 ※いわき市避難者数 H25.4.5 現在	

(2) いわき地域における相双地域からの避難者に係る保健福祉行政機能の強化

ア 組織の強化

相双地域からいわき市への避難者の健康支援に取り組むため、いわき地域における体制の強化を図っている。

いわき地域における組織状況		人員体制	
H23. 9. 15	いわき地方振興局へ職員派遣	2名〔保健師2〕	H23. 9. 15～
H23. 11. 1	いわき地方振興局との兼務職員として配置	2名〔保健師2〕	H23. 11. 1～
		4名〔保健師3、事務・福祉職1〕	H23. 12. 5～
H24. 1. 1	相双保健福祉事務所 いわき市駐在	4名〔保健師3、事務・福祉職1〕	H24. 1. 1～
		8名〔保健師3、事務・福祉職1、 専門員1、自治法派遣保健師3〕 ※臨時技術補助員（保健師）1	H24. 4. 1～
H24. 6. 15	相双保健福祉事務所 いわき出張所	8名〔保健師3、事務・福祉職1、 専門員1、自治法派遣保健師3〕 ※臨時技術補助員（保健師）1	H24. 6. 15～
		10名〔保健師3、事務・福祉職3、 専門員1、自治法派遣保健師3〕 ※臨時技術補助員（保健師）1	H24. 7. 1～
		11名〔保健師4、事務・福祉職4、 専門員1、自治法派遣保健師2〕 ※臨時技術補助員（保健師）1	H25. 4. 1～

イ 他県等からの職員派遣の継続

年度	団体名	期 間	職種(人数)	備考
23	横浜市	H23. 10. 17～ H23. 12. 2	保健師 (2)・事務 (1)	7 チーム
	新潟市	H23. 11. 14～ H23. 12. 22	保健師 (2)	6 チーム
	岡山県	H24. 2. 6～ H24. 3. 2	保健師 (2)・事務 (1)	4 チーム
	大学等	H24. 1. 30～ H24. 3. 28	保健師・助産師・看護師	—
24	埼玉県	H24. 4. 1～H25. 3. 31	保健師 (1)	—
	京都府		保健師 (1)	延べ4人
	福岡県		保健師 (1)	—
25	埼玉県	H25. 4. 1～H26. 3. 31	保健師 (1)	—
	京都府		保健師 (1)	—

ウ 関係機関との連携及び関連事業の活用による対応力の強化

- ・ 富岡福祉相談コーナー (H24. 4月～、母子自立支援員兼女性相談員1)
- ・ ふくしま心のケアセンターいわき方部センター (H24. 4月～)
- ・ 絆づくり応援事業による派遣職員 (H24. 4月～、保健師0.6、歯科衛生士1)
- ・ 被災者健康支援サポート事業による派遣職員 (H24. 4月～、看護師1、歯科衛生士1、栄養士2)
- ・ 県立大野病院 (H24. 5月～、看護師7)

エ 避難元市町村及びいわき市との連携・支援及び連絡調整

避難元市町村を支援するとともに、中核市であるいわき市との連携及び連絡調整を行うため、避難元市町村及びいわき市との情報交換や対応策に関する協議、連絡調整等を密接に行い、いわき地域における保健医療福祉行政機能の確保に努めている。

＜平成 24 年度連絡会開催回数＞

南相馬市	3	広野町	15	檜葉町	10	富岡町	4	川内村	4
大熊町	9	双葉町	12	浪江町	6	葛尾村	0	いわき市	4

＜いわき市へ避難している方々への支援に関する打ち合わせ＞

保健福祉総務課主催。平成 25 年 4 月 19 日、いわき市と県とのいわき市へ避難している方々への支援に関する打ち合わせが開催された。今後、2～3か月に1度の予定で開催され、いわき市への避難者に関する保健医療福祉関係の現状と課題や対策について継続的に検討していく。

(3) いわき地域への避難者の健康支援活動

ア 仮設および借上住宅に係る健康調査の実施

＜家庭訪問実施件数(H23.9月～H25.3月)＞

- ・訪問件数 : 延べ 3,151 世帯・延べ 9,025 人
- ・訪問チーム数 : 延べ 1,046 チーム

イ サロン・健康相談会への支援（仮設住宅居住者対象）

＜仮設住宅で実施されている交流サロン・健康相談会への支援回数(H23.9月～H25.3月)＞

- ・実施回数 : 延べ 234 回 ・参加人数 : 延べ 2,032 人

町名	仮設住宅数	内容
広野町	9 仮設	歯科サロン
富岡町	2 仮設	健康相談・歯科サロン
大熊町	6 仮設	健康相談・健康教育・栄養サロン・歯科サロン
双葉町	1 仮設	健康相談・健康教育・栄養サロン・歯科サロン

ウ 健康教育及びサロンの実施

＜小名浜交流サロンの開催（借上住宅居住者対象）＞

・健康調査の際に寄せられた避難者からの要望を踏まえ、同郷の被災者同士のふれあいを目的としてサロンを開催した。なお、平成 25 年度は、NPO 法人 ザ・ピープル及び小名浜地区復興支援ボランティアセンターが主催する「相双地域交流サロン」として開催が継続されている。

開催年月	回数	内容		参加人数
H24 年 9 月	4 回	開所式	・茶話会	91 人
10 月	4 回	健康講話（結核予防について）	・茶話会	40 人
11 月	4 回	健康体操（操体法の実施）	・茶話会	32 人
12 月	4 回	健康体操（操体法の実施）	・茶話会	23 人
H25 年 1 月	3 回	健康講話（血圧について）	・茶話会	9 人
2 月	4 回	健康講話（歯の手入れについて）	・茶話会	21 人
3 月	3 回	健康講話（高脂血症について）	・茶話会・閉所式	21 人
合計				237 人

エ 被災者健康支援サポート事業による看護師派遣

派遣先	派遣日	派遣人数	支援内容
大熊町	H24. 10. 30～31	看護師 1 名	大熊町総合健診いわき会場における健診事業を支援

(4) 被災者支援に係る支援者への支援について

ア 広野町絆づくり支援員（生活支援相談員）に対する支援

- ・時期：平成24年10月～
- ・内容：グループミーティングの開催。悩みごとや困りごとの相談、見守りや相談活動にあたっての助言・指導等（ふくしま心のケアセンターと合同実施）

町名	対象	実施会場	実施回数・参加人数
広野町	中央台地区 絆づくり支援員	中央台鹿島仮設住宅	計6回 延べ36名
	常磐地区 絆づくり支援員	常磐迎第1仮設住宅	計6回 延べ27名
	四倉地区 絆づくり支援員	四倉町鬼越仮設住宅	計4回 延べ25名

イ 双葉町社会福祉協議会職員（生活支援相談員）及び民生委員等に対する支援

- ・時期：平成24年12月～
- ・内容：悩みごとや困りごとの相談、見守りや相談活動にあたっての助言・指導等

町名	対象	実施会場	実施回数
双葉町	双葉町社会福祉協議会職員 民生委員等	南台仮設住宅サポート センター「ひだまり」	計4回 延べ25名

(5) 各関係機関との連絡調整等について

ア 事例検討会の実施

- ・仮設および借上住宅で生活している相双地域からの避難者について、支援対応が緊急かつ処遇が困難な事例について、関係機関等への調整を行い、事例検討会を随時実施。

イ 希望の杜福祉会との連絡会議

- ・概ね月1回開催される連絡会議に参加し、いわき市に避難している障がい児・者への対応について、各機関が抱える問題や支援の方向性などについて情報共有を行っている。

※福島県相談支援充実・強化事業関係

ウ ゆいまーる・ふたば地域連携会議

- ・被災した障がい児（その疑いのあるものも含む）への相談および療育を含めた援助を行うため、NPO法人わくわくネットいわきが開催する保健・福祉・学校関係者が一堂に会する地域連携会議に参加し、情報共有や支援方針の検討等を行っている。

※被災した障がい児に対する相談・援助事業、発達障がい児（者）障害福祉サービス利用支援事業

エ 療育支援地域連絡会議（いわき市主催）

- ・早期から一貫した療育支援の体制を構築するため実践的な検討を進めていくことを目的に開催された「療育支援地域連絡会議」（H24. 8. 31 及び H25. 2. 6 開催）に参加し、いわき市内の療育・保育機関や福祉機関と教育機関等との連携を図っている。

オ 相談支援専門職チーム（いわき地区）との打合せ会議

- ・いわき地区の相談支援専門職チームの打合せ会議に出席している。（②計5回）

(6) 母子保健対策

ア 被災した障がい児に対する医療支援事業

・事業実施状況： 開催回数 7回 受診児数：14人 従事者数：15人

<実施内容>

開催年月日	内 容
平成24年5月18日	<p>■ 診察・治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児等を対象に診察、治療を行う。 <p>■ 支援者に対するコンサルテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児等の支援者（保健師、保育士、幼稚園教諭、福祉担当者、教員等）に対し、障がい児等の支援方法についてコンサルテーションを行う。
7月2日	
8月27日	
10月1日	
11月12日	
12月17日	
平成25年3月5日	

イ 相双地域子どもあそびの教室

・事業実施状況： 開催回数 6回 参加児数：16名

<実施内容>

開催年月日	内 容
平成24年9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による相談 ・臨床心理士による相談および発達検査 ・保育士による遊びの指導および相談 ・保健師による相談 ・その他、保護者に対して養育に必要な助言
10月22日	
11月26日	
12月19日	
平成25年1月18日	
2月15日	

(7) その他

- ・平成24年6月～9月、熱中症予防の普及啓発のための家庭訪問を実施した。
- ・同10月、感染症（風邪、インフルエンザ、感染性胃腸炎等）の予防について、普及啓発活動を実施した。

(参考) 県立大野病院による看護師派遣

派遣先	派遣期間	派遣人数	支援内容
広野町	H24.5月～H25.3月	看護師1名、助産師1名	業務負担の増大および 人員不足への対応
檜葉町	H24.5月～H25.3月	看護師1.5名	